

■アンケート調査 自由回答（抜粋）

〔就学前児童〕

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市役所等）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由に意見などをお書きください。

1. 幼稚園、保育所（園）、保育サービス、サポートについて

- ・保育園の先生が増えてゆったりと話をしたり、子どもに関わってもらえればよいと思う。
- ・必要な時に相談に乗ってくれる。
- ・サポートがどのようなものがあるのか不明であるため、わかりやすく知らせてほしい。参加しやすいようにしてほしい。
- ・義務教育、保育園、幼稚園も全て無償。
- ・①保育所の保育時間の延長 7:00～19:00 までにしてほしい。仕事をする上で、現状では、時間的に厳しい。②近所まで、バス送迎があると助かります。
- ・病児保育の充実。
- ・家事代行や子供を預かってもらえる施設。
- ・銚子にあるわかば学園のような施設を旭市にも作ってほしい。今、旭にある支援センターは、付き添いが必要な状態で、仕事を休まなくてはいけないので行くのに限りがある。銚子は良いけど遠い…。あと時短を利用するしかない。
- ・もっと保育所に入園しやすくしてほしい。途中入園でも入れてほしい。特に0才児。仕事復帰がある為。
- ・夏休みの預かり保育の時間帯を広げてほしい。（冬休み・春休み。）
- ・事前予約不要の一時預かり保育（24時間）（緊急時だけでもいいので）。

2. 遊び場、公園、催しについて

- ・年齢制限のない児童館が欲しい。ハニカムは、狭く、上の子が3歳以上の為、利用することが出来ず、東庄町まで行くことがあります。
- ・日曜日にハニカムが休みなので、冬や雨の日は遊び場所がなくとても困るので、子どもが室内で遊べる場がほしいです。
- ・異年齢の子供をもつ親にいろいろ話を聞く機会があるといい。
- ・未就学児向けのイベントや講座の開催を少人数で頻繁にしてもらえるとありがたい。地域のネットワークができ、情報交換や共有にもつながると思う。
- ・同じ年の子たちの集まりだけでなく、お年寄りや学生たちの趣味や活動に参加、見学する機会があると良い。
- ・絵本の読み聞かせや、本とのふれあいに力を入れること。

- ・イベント等に併設した気軽に相談できる場所、機会があると嬉しいです。
- ・町内にある公園が駐車場になってしまい、歩いて行ける公園が無いので、子どもを遊ばせるために車を使うしかない。今はまだ親が連れて行けるが小学生になった時に自分で行ける公園や遊ぶ場所が無いのは少しかわいそくなと思う。子供が少くなり、公園が無くなるのは仕方ない事なのかもしれないが、子供がいないわけではないので難しい事かと思うが公園が欲しい。
- ・父親、祖父母が子育てに対して理解できるような、父、祖父母むけの勉強会や啓蒙があるとよいと思う。

3. 保健、医療について

- ・新生児訪問だけでなく、2カ月に1度でもいいので希望者には訪問などあれば、子育ての相談も気軽にできると思う。
- ・インフルエンザの注射、助成、銚子市はあると聞きました。
- ・市の「0歳健診」というものが今だと3歳まで終わっていると思いますが、小学校低学年くらいまで、これを行なった方が良いと思う。これだとほぼ強制的に行くので親側からしても絶対に行かないダメだし少しでも子供に気になっている点などを相談しやすい。
- ・父親が子育てに協力してもらうのが普通のことであるというための健診等時に一緒に来てもらえるような時間や曜日にしてみる。また、その際は父親への聞き取り中心にしてもらう。

4. 市政について

- ・おむつ券の様な券、ミルク券があると助かります。
- ・オムツ券の支給を3才の誕生日まで延長してほしい。
- ・金銭的な支援の充実。小学校に通った際、人数が少ない事に対して不安が大きい。
- ・出産を含め、子育てに関する情報がインターネットを通して得ることが多い。市役所や行政でホームページ上に掲載しているものだけでなく、SNSなど若い子育て世帯が利用するツールで、母、父ともに情報を得られたり、共有できる場所（市がつくり、信頼のおける）があると良い。
- ・歩道が狭くて散歩にも神経を使います。歩道がない所も多く、できるだけ歩道を作っていただきたいです。
- ・子供の多い家庭にもっと支援してほしい。
- ・子育て支援課での相談窓口があると良いです。幼稚園の先生が頼りにならない。相談できる雰囲気がない。幼稚園が認定こども園になったのであれば保育者として、子供や親に寄り添っていただきたい。
- ・暗い道を減らして欲しいです。
- ・平日は仕事をしている為、土日など、市役所機関があいていると望ましい。

5. その他（相談できる所、助けてくれる人、預けられる所等）

- ・子育て中ということに理解のある職場であることが一番だと思う。
- ・電話だけでなく、LINEなどのコミュニケーションツールを用いて相談ができるような手立てがあるとよい。
- ・希望者向けの情報定期便。

- ・子どもを温かく見守りながら、危ない時や間違っている時に、手をさしのべて手助けしていただける環境がいいと思います。
- ・子育て支援センターは1階にあってほしい。階段は危険。ベビーカーが入るようにしてほしい。
- ・1ヶ所（ワンストップ）で育児問題に対処できるところ。理想は一つの建物に児童館・相談窓口があるもの。ますどんな相談先があるか知ることが難しいのです。気軽に寄って案内してもらえばありがたいです。
- ・保育園、家族等、子どもの発達について理解し、「自分で出来ること」を増やしていけたらと思っています。その為には、日々の子どもの生活の様子等を把握し、周囲の人々へ伝え、「出来ることを増やす」には、どうしたら良いか、環境作りについても一緒に考えていけたらと思っています。
- ・私が住んでいる地域では、親世代やそれ以前の子育てのアドバイスをしてくださる方が意外と多い。一部、自治体などが行っている「祖父母手帳」みたいなものがあるとお互いのギャップを埋めやすいと思う。

問53 最後に、すべての子どもに良質な成育環境を保障し、子育て支援を総合的に進めていくために、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

1. 幼稚園、保育所（園）、保育サービス、サポートについて

- ・保育所などに関して土日祝日など、料金が発生してもよいので、子供を預けられるところがあるとありがたいと思います。病児保育も利用させてもらっていますが、人数や場所などが増えもっと気軽に利用できるようになってほしいと思います。子供の医療に関して、休日などで救急にかかるといいかわからないときに電話などで相談できるところがあると安心します。（#8000は夜しか使えない気がしたので）暗い道が多いので街灯を増やしてほしいです。
- ・保育所などに関しては、先生の人数を充実させて欲しい。小さな子供を見るのは本当に大変なので。十分と思える以上の人手があれば細やかな質の良い保育を目指せると思う。来年の無償化に向けてしっかりとした説明をするべき。我が家は現在こども園に通っているので、これから3歳になることで何号の認定がもらえるのか？を考えるところである。保育認定でも無償になるのであれば、親は自分の働き方を考え直すこともできる。総合的には市は必要以上と思えるような支援を打ち出していかなければ旭市に子育て世代を増やすのは現状では難しいのでは？
- ・子供の発育相談、いじめ問題、不登校について何度か相談したことがあります。話を聞いていただけて私の不安も取り除けました。発達については、その後必要なサポートも利用させていただき助かっています。ありがとうございます。ただ我が子の発達に不安を持っていても、相談窓口等を知らない保護者も周りに何名かいました。そういう窓口の広報をもっとして頂きたいです。公園の設備、街灯の設置、道路や線路等の整備等進めてもらえると、もっと子供も安全に過ごせると思います。不審者情報のメールは保護者としては貴重な情報ですありがとうございます。
- ・保育園の申し込み時期が遅すぎると感じます。（途中入園の場合）遅くても復帰3か月前までに入園が出来る、できないがわからないと職場に迷惑が掛かってしまい復帰しづらいです。虐待がニュース等でよく取り上げられますが、どうしても手が離せないときやあやしても泣き止まないとき等「近所の人に虐待だとおもわれないだろうか」やまだ歩けない娘が誤って転倒し「揺さぶられ症候群だといわれてしまったらどうしよう」と不安になってしまいます。早期対応はとても大切だし必要なことだと思いますが冤罪対策もして欲しいです。
- ・保育費が無料になっても今までと同様、またはそれ以上の保育の質が保てるよう仕組み作りをお願いします。ただになったのだから仕方ないと思いたくありません。旭市の子育て支援についてはとても助けられてきました。今後小学校に入学した後の仕事と子育ての両立に不安があります。学童に入れるのか、時間外や長期休暇の居場所など安全に過ごせるよう支援していただきたいです。保育施設と学童の連携など柔軟に対応していただけると助かります。
- ・認定こども園を増やして欲しいです。
- ・公立保育所が古い。壁等ひどいと思います。子供を増やすためにもきれいであるべきです。選択肢があるなら幼稚園（こども園）に通わせたいと思ってしまいます。また、保育所の遠足、2度もディズニーランドに行く必要ありますでしょうか？親と子で行動し、皆と楽しむのもバスだけです。値段も高く負担が大きいです。行かないのもかわいそうなため毎回困っています。

- ・お互いに心配なこと、気にかかることが合ったら、悩みなどを気軽に話せるように先生（預け先）との連携がうまく取れるようにできればよいと思います。定期的に先生からも家庭での様子を聞いて頂いたり、預け先（保育所など）の様子を、保護者に伝えていただけるとありがたいです。今までそれが少し足りない気がしていました。保護者からあまり聞かなかつたのも問題だったと思います。
- ・年度の途中に保育園に入園希望をしたら断られ仕方なく幼稚園にした。思い通りに職場復帰できませんでした。次の4月まで待てばよかったのかもしれないけれど急な引っ越し等重なり、来年から小学校です。地域に子供が少ないので淋しい感じがしますが楽しんでもらいたいと思います。
- ・病児・病後保育をしてくれる保育園でも、実際利用したいときに利用できない。しにくい状況である。（看護師が1名、時間が短時間でキャバを越えると利用できなかったり、利用したいというと嫌な顔をされるので言いづらいことが何度もあった）小学校入学すると、保育園在園中は可能であった勤務が時間的に厳しくなる。いわゆる「小学1年生の壁」が旭市はまだまだ厚いように感じる。学童時間の拡大、余計な行事の省略をお願いしたい。（小1親子遠足など）遠足2回も3回もいらないです。
- ・来年1年生になります。通学路の半分以上が1人で通います。1人で帰るのが心配です。それだけでは学童保育に預けられないのでしょうか？
- ・未就学児へのサポートに重点を置くことはもちろん大事ですが、例えば延長保育を19時まで利用していたお子さんが就学し、学童に預かりが変わったとして、現在の学童は18時までの時間しか預かってくれません。この1時間の差はどうして違ってくるのでしょうか。時短就労の対象も未就学児の子を持つ人対象で、公的サービスしか頼れない人はこの就学と同時に仕事をパートやアルバイトへもしくはいったん退職になってしまいのではないでしょうか。この不安があるので正職に戻るのをためらっております。
- ・ファミリーサポートを早く作ってほしいです。

2. 遊び場、公園、催しについて

- ・学区内での就学前の子供だけの集まりやイベントを行ってほしい。近所に同年代のお友達がいるかどうかも、あまり分からぬいため。
- ・公園の環境を整えて欲しいです。壊れている遊具を直す等。子供と遊びに行くとたまに不審者のような人がいて怖いので見回りをして欲しいです。トイレ等も。子供がいすれ使う通学路のブロック塀が高いところがあるので何とかならないかなと思います。万が一崩れてからでは遅いので。子連れの肩身が狭くならないような温かい地域にもっともっとなりますよう願っています。
- ・妊娠時期だけでなく、育児期間の父母がその時々の時期の子供への関わり方を学べる講習会などあると良い。特に父親は妊娠期や赤ちゃん期の両親学級しかなく積極的に情報を得られる機会が少ない。メインで育児をしていない方の親にも、育児の大変さなどを知ってもらう機会を作って欲しい。理解がないことで精神的なゆとりが持てないなど、子育てへの影響もあり、それを防ぐためにも必要だと思う。
- ・室内の遊び場、雨天時、土日利用の場。子供が体験できるイベント、工作やお菓子作り、手芸や茶道など習い事に通えない子供でも体験し興味が持てそうなイベントあると良いなと思います。公共公園のこわれた遊具の早期修理、雑草等の処理。公園のトイレの環境整備（現、袋公園汚すぎる）おむつ替えできるトイレが少ない。

- ・父親同士が集まって子育ての交流の場が増えるとともに子育てに父親が積極的に参加してくれるのかなと思います。
- ・子供達が楽しめる、イベントをたくさんやってほしい（産業祭りやヴィレッヂみたいな）。公園などをふやしてほしい、アスレチックなど。勉強等難しくなってきているから、手軽に行ける塾があってほしいな。
- ・オムツ券が支給されていてありがとうございます。ぜひ続けて欲しいです。子育て支援センターを定期的に利用させていただいております。広くて明るい雰囲気で通いやすいのですが、冬場はそこでお友達から病気をもらってしまったという話をよく聞きます。土合の支援センターでは子供が口に入れてしまったおもちゃを別の籠に入れるようにしてあり、衛生面で気を付けているようです。お忙しいとは思いますが出来れば毎日消毒などをしていただけると助かります。
- ・子供と一緒に出かけできる場所の情報、各小児科の口コミ、教育・保育の先輩ママの声など総合で見られるサイトがあると嬉しいです。市のホームページは文字ばかりで見づらいし、保育園のサイトを見て回っても、行ったり来たりして内容の比較が出来なかったり、掲示板のように意見交換できる場など一括で見られるサイトがあれば絶対利用します。
- ・小さな子供が安心して遊べるような公園などが少ないように感じます。大きな公園はいくつかあります、各地区に明るくきれいな整備された場所（小さくても）があれば良いなと思います。（公園があっても決して明るい雰囲気ではなく行きにくいので。）

3. 保健、医療について

- ・市内に耳鼻科のクリニックがあると良いです。
- ・小児科が増えると良い。かかりつけを決めるのに悩んでしまった。子が大きくなても遊べる屋内。支援員さん方はどなたも皆親切で感謝しております。段階的に育児に関して学べる機会が欲しい。どういう状態なのか?これでアッているのか?常に不安で悩んでいる。気軽に参加できる子育て教室などがあると良い。オムツ券・一時預かり大変助かっています。市民の皆さんに感謝。迷惑をかけていりだるうに地域の方も優しい。小さい子でも参加できる、おじいちゃんおばあちゃんとの触れ合いの場、モノづくり教室などあれば行ってみたい。
- ・飯岡保健センターで健康診断や子育て両親学級が行われますが、車がないと行くのに時間・お金がかかる(タクシー・電車)ので申請したら交通費の補助があると嬉しいです。(育児サークル、両親教室に車を持ってなくて参加できなかったという母親の知り合いがいたので。)
- ・土日に診てもらえる病院(小児科以外に一般内科も)が増えて欲しいです。主に個人病院。
- ・よく聞くのが、不妊治療等が保険適用外で不妊治療費を払えないというお母さんの話です。子供が減っていく中、望んでいても経済的理由であきらめることはもったいないと思うので、市でも対策を考えてもらいたい。
- ・今年はインフルエンザワクチンが不足していてインフルエンザの予防接種を受けることが出来ませんでした。共働きの世帯が多くなっている今、子供のインフルエンザの予防接種が出来る医療機関の情報提示をして欲しいです。保育所には1歳からお世話になり今年度で卒園となります。保育士の方にはとても感謝しております。

4. 市政について

- ・子育て支援課で、母親の就労支援活動を行ってほしいです。以前勤めていたところは妊娠をきっかけに退職しました。子供が生まれてからの就職活動はなかなか上手くいかず（面接の際に子供のことを絶対に聞かれるため）現在勤めている仕事に就くまではとても苦労しました。ハローワークは事務的なので家庭があり、小さい子供がいる母親にとっては特に利用しても意味がないと感じました。子育て支援課と旭市内にある企業が連携し、小さい子供がいても安心して働く職場を紹介してくれたりする制度があると私ももう1人子供が欲しいと思い行動できるようになると思います。
- ・平日に仕事をしているので、子育て支援課の窓口を休日に開けていただけると、助かります。（月に1回でも。）
- ・保育所、学校など子供の教育にかかる費用の負担をもっと減らしてほしい。
- ・第3子以降の保育料無料の継続（食事代が別になんでもその分は市で負担していただきたい）。まだ先の話だが、（我が子には）旭一中と旭二中の生徒数がかなり違っており、一中は部活動の選択肢也非常に少ない。今後合併や、学校区域の変更（旭二中区域の一部を旭一中にする）ことも検討・実行して欲しい。矢指小区域だが中央小に近い人は皆中央小→旭二中へ行ってしまうので、旭一中の生徒数の減少をどうにかしていただきたい。
- ・保育士さんも大変そうなので、もう少し負担を減らせると、事故など起りづらいと思います。なかなか難しいですが。無償化ありがとうございます。旭市は色々と充実していて助かります。
- ・オムツ券を障がい児には年齢に関係なく支給していただけるとありがたいです。それと仕事をしている間（8時～17時まで）子を預かってくれる療育施設が市内にあるとありがたいです。今は雑子のわかばさんに預かってもらっていますが、9：30～16：00までなので祖父母が送迎をしています。せめて市内であれば母（自分）がどちらか一方だけでもできるのですが。
- ・市内の企業に対して（公務員も含む）子育て中の労働者に対する理解・待遇を行政から強く指導していくべきと考えます。育休・産休をとりにくい空気を排除、マタハラ・ママハラなどを厳しく処罰する等、育児中の親たちというよりは、何よりも子供をすべてにおいて優先する行政が旭市の活性化につながるのだと思います。すぐに実らなくても、しっかりとした子育て環境の基盤作りが将来私たちの子供が親になる時に大きな支援になってくれると思います。
- ・第2子妊娠中、つわりがひどく周りに見てもらえる人もいないため困って相談に行ったのに、子育て支援課の方は「できることはできません」で返された。何のために行ったのか。まったく意味のない支援課だった。配布している資料に「孤育てにしない」と書いてあるが何の意味もなかった。都内と違いファミリーサービスやシッターをすぐ頼める環境にないのだから、もう少し規定を越えた配慮があるべきだと思う。
- ・オムツ券がある事はとても助かっています。ありがとうございます。可能であれば妊娠期の医療費の負担、女性が働きやすいような時短制度、子供が病気になった際、休暇が取りやすいような職場への働きかけがあるとありがたいです。

- ・障がいのあるなしに問わらず平等な教育を受けられるようにしてもらいたい。健常児と関わることで成長・自立につながることを、我が子を通じて実感しました。行政は支援校への進学を進めることができますが、一人一人の特徴（特に長所をよく見ていただきたい）を理解し、今後の成長にどのような環境がベストか、ちゃんと話し合った結果で判断していただきたいです。そうしなければ障がい者はどんどん地域から孤立してしまいます。※今後の改善点として、アンケート調査票と返信用封筒の大きさが合っていないので封筒を大きいサイズにしていただきたい。
- ・子供が障害児のため、現在療育センターに通わせているが、旭市には母子通園の療育センター1つと母子分離の施設が1つしかないため、もっと療育を受けられる施設を作りたいです。
- ・旭市の道は狭く学生や児童に危ない道路が多い。旭二中の正門から市役所通りに向かう交差点が信号もなく横断歩道も消えかけているため車が接触しやすく子供達も危ないので、せめて押しボタン式の信号をつけて欲しい。

5. その他（職場環境、不安に思うこと、アンケートについて等）

- ・質問が多く答えるのが苦痛でした。子育て、仕事で時間がない保護者の方が私以外にもいると思うので今後は質問数を減らして簡潔にしてほしいです。
- ・このアンケートを機に子育てについて振り返り、さらに夫婦で話し合う機会を持つことが出来ました。旭市で子育てが出来とても感謝しています。今後ともよろしくお願ひします。
- ・子供たちが将来、この土地に住んでいきたいと言ってくれるような街であってほしいです。私たちの住む地区では、子供がどんどん少なくなっており、空き家も目立ちます。小学校へ行っても子供がない、昔は当たり前だったチーム競技すらできない。寂しい限りです。
- ・子育てをする上で一番不安に感じていることは経済的不安が大きいこと。習い事をさせたいけど将来の家計を考えると留まってしまいます。
- ・この調査は健康な子供を持つ方へのアンケートではありませんか？旭市だけでも様々な病児や障害児がいるということをちゃんと考へたアンケートですか？子育て支援課で障害を持って病気をもって保育園に入れるんですかという方がいるくらいだからね。言われたほうはその一言で一生忘れない一言です。アンケートも考へて配布すべきでは。もっと旭市は病児・障害児を調べ把握して安心して過ごせる場を提供すべきではないですか。
- ・育児や急な休みなどは子育てにはつきものだけど、今現在でも職場の人たちや身近な人の理解が得られないケースが多い。このことに関しては改善を働きかけてもあまり効果が得られないと思うから、それならばその分、育児休業中の手当を2か月に1回ではなく増えればよいなと思う。休むこともあまりよい目で見られず金銭面での支援も手薄であれば子供を何人も産んで育てたいと考える人は少ないし、夢で終わってしまうと思った。
- ・小学校で音楽部の楽器活動がなくなりました。合唱でもいいのですが上の子は楽器を演奏する上級生を見て楽しみにしていたのに残念です。活動する資金がないとのことです。楽器のメンテナンスにもお金がかかります。周りの小学校では楽器がたくさんあるところもあり不公平な気がします。いろいろ理由はあるかもしれません、人数が少ない学校はあきらめなくてはならないのでしょうか。少ないといつても1学年30～40人いるので活動が出来ないほどではないです、希望者もたくさんいます。

- ・旭市として教育・保育・子育ての環境等どのように支援しているのかが全く伝わってきていないとと思う。今回のアンケートでも感じましたが通知が届いてから提出までの期限が短かったり、毎年の現況届の提出でも共働き世帯への配慮等を感じられない。1人目の子の時にも感じましたが、保育所の申請をしてから決定通知が届くまでに期間が長く、説明会ギリギリで決定通知が届き職場への対応に悩んだ。結局2人目の時にも対応にも何の変化もなく申請時に同意書を書かされているという印象が強かった。意見をこういったアンケート等で集めたところで市が独自に何か対策をしていってくれているとは思えないです。
- ・中国語の子育て支援の先生がほしい。

■アンケート調査 自由回答（抜粋）

〔小学生〕

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、市役所等）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由に意見などをお書きください。

1. 放課後児童クラブ（学童保育）、子ども会、サポートについて

- ・高学年になるまで学童に入れると良いです。
- ・母親が専業主婦というだけで学童保育に入れない。母親が病気で診断書があっても入れてもらえない。サポートではない、決まりに従っているだけである。
- ・放課後児童クラブで（延長で）英語やスポーツなど、習い事的な要素があるととてもうれしい。
- ・土日でも一時保育があると良い。子育て支援センターが土日もやっているとよい。小学生の兄弟も一緒に遊べる広いスペースと遊具、園庭もあると良い。
- ・子供食堂の周知、普及。学童の増設（夏休みなどに、家に一人で留守番させる事は不安）
- ・以前、学童を利用していたが夏休みの開所時間が遅く（8：30～）、出勤時間に間に合わない為、職場に時間休をもらい利用し、肩身がせまかった。普通に考えて、会社勤めの人達には困る。学童は基本、保護者の送迎とのことであるなら、7：30には開所して頂きたい（子育てサポートという面で）。
- ・警報が出た時に預けられる所があると助かります（保育所はそのまま預かってくれましたが、小学校、学童が休みになってしまふと困ってしまいます）。
- ・共働き家庭では学童保育等、子供を預けられる施設はとても助かります。人数制限等詳しくは分かりませんが、希望者を全て受け入れられるようになると良いと思います。
- ・学童保育は土日祝の全て使えるようにしてほしい。
- ・放課後児童クラブ、夏休み冬休み等お弁当を出してくれると助かります。

2. 学校教育について

- ・学校と連携して連絡を取り合うなど。
- ・金銭的サポート。発熱が38度程度までであれば保健室で預かってもらえると助かる。
- ・サタデースクールのような学習ができる場があるといい。
- ・特別支援学級の充実をお願いしたい。先生のレベルにもばらつきがあり、どの方向性で子の教育を行っていくか？の方針もわかりません。可視化をもっと行って欲しいです。
- ・学校に通えない児童・生徒に対し、総合的に相談にのってもらえて適確な助言、支えができる公的な場所が必要と考えます。新人教諭をサポートし、子どもが安心し学力が向上できるようにして欲しいです。”子育て”を考えてほしい。教育者の保身の方が大切になってしまっていると感じます。
- ・学校からの定期的な情報提供や交流イベント。
- ・学校の先生だけに頼らない教育。

3. 保健、医療について

- ・旭中央病院は、診療代が高くて緊急の場合であってもかかりません。医療費を（子供の）安くして下さい。受給券があっても高いです。
- ・フィンランド「ネウボラ」のような、出産前から小学校位まで保健師が関わってくれるサポートがあれば、一貫継続して把握してもらえ、専門知識や経験から医療面の不安も相談しやすく安心だなと思う。子どもの個性や成長、変化も相談しやすく、理解してもらいやすく、母親として不安が減る。
- ・予防接種のお知らせがあると助かります
- ・医療等のサービスを調べないと受けられない状態ではなく、対象者に積極的に周知して頂きたい。

4. 公園、遊び場、イベントについて

- ・自宅から徒歩で行ける所に公園が欲しい。近所に同年代の子供が少ないので、友達と遊ぶ場所まで送迎しなければならない。学校以外で、宿題を教えてくれる施設があるとよい。小学校から2Km 以上の所は、バスを出して欲しい。
- ・外で遊ぶ機会も減り、子供同士で集まって遊ぶのも少なくなっていると思うので、地域の子どもたちが集まって楽しめるイベントが多くあるといいなと思います。
- ・子育てを中心にしているのは、大体が母親だと思いますが、父親の子育て参加がもっと一般的になるような働きかけが、大切だと思います。パパだけ参加するようなイベントや父親同士のサークル活動などを（子育ての分野で）作ってほしいです。
- ・小学生が行ける職員（保育士）のいる児童館があるとありがたいです。（土日も使える。）
- ・無料の施設。
- ・体育館の開放。（雨の日、一人で男の子3人を家の中で見るのは大変。広く走り回らせてあげたいと思う。）

5. 市政について

- ・児童手当の増額が出来ればよい。今の額面では、生活が苦しいのは変わらない。支給日を増やしてほしい。学校面のお金を無料に近づけてほしい。
- ・子ども手当で3月生まれだと4月生まれの子供と比べると、1年分貰えない（少ない）ので損している。早生まれもその分貰いたい。平等ではないです。
- ・子どもの多い家庭をもっと支援して欲しい。
- ・高校卒業までの医療費の無償化を要望します。他市等では実施されているのに、旭市は中学校卒業まで300円。中央病院では初診料5,450円も請求される。すごくおかしいと思います。どうにかならないのですか。保育料の無償化より、医療費の無償化のほうが優先だと思います。
- ・若い人達の中には、市役所などで受けられるサポートを知らない人も居ると思います。私が生活してきた中で、市役所という所は聞かないと、教えてくれない…という印象があります。
- ・危険個所の改善（歩道が狭いや、どぶ板の補修など）。雨の日などお迎えの兼ね合いから、一時的に待機していられるスペースの確保をお願いしたい（すぐに行けない時用）。

- ・シングルなので、仕事を頑張るが、頑張れば、頑張る程、市からの助成されるものが減る。保育園も満額払うし、住民税の控除があるわけでもない。家を建てるにも何もない。一人だから頑張ってもどんどん払うものが増えるだけ。
- ・低所得で貧困なので、フードバンク？みたいな所が旭にもあると助かります。子どもが4人もいると食費が多くかかり、なかなか手のかかったものや、栄養がバランスよく取れない時があり、お金が足りなくなってしまうと、いつも子ども達にはかわいそうな思いをさせてしまうので、フードバンクがあると助かります。

6. 相談、預かり施設・窓口について

- ・子どもの急病などの際に仕事を休めない場合、利用できるシッターさんの紹介制度があれば利用したいし、日頃から安心して勤務することができると思います。学級閉鎖や警報が出た場合の学童のお休みについても、どこか頼れる場所があれば…と思っています。
- ・24時間制の電話相談があるといいと考えます。いざというときにすぐ対応してくださると助かるかと。例えばシェルター的な一時保護。食事などの生活援助。子供が安心して助けを求められるスタッフの確保など、DVなどがあるので。
- ・共働きをしていて、子どもが熱を出してしまったときなど、祖父母にどうしても預けられない場合の病後児保育を行っている施設を利用したいです。預けられる人数が増えると嬉しいです。
- ・定期的な支援（二ヶ月に1回や半年に1回でもTELで連絡したりするサービス）。
- ・子供の必要に応じて、相談する所が違ってくるかと思うのですが、どこに相談したらよいかわからないうこと。
- ・親としてつまずいた時、相談出来る場所、悩み事を打ち明ける場所が市役所だと知り合いが居そうで相談が難しい。親戚や知人、顔見知りがいそうで、こわくて相談できないので、この市の事をまったく知らないカウンセラーの先生などを紹介、もしくは東京などから派遣してほしい。願いです。
- ・個別訪問による相談受付（悩みへの気づき）。
- ・普段、仕事が忙しいので、子育てに関しての相談を必要としていても施設等に出向いての相談は難しい。また、プライバシーの心配も少しあるので、手すき時間にできるメールサービスや無料の情報誌等があるといいと思いました。
- ・親が入院した時に、子供を預けられる場所があったら良いと思う。
- ・母親が一人で子育ての悩みを抱えてしまわないよう、話を聞いてもらえる人、場所、その様な機会があると良い。

7. その他（新しい施設、施設の充実、サポートしてくれる人・所、通学路等の安全性、地域での子育て・交流）

- ・障害があって「普通」が通用しない子供達へのサポートや、知識が深いアドバイザーを言教えて頂けるといいです。
- ・学童とは違って誰でも（経済的に塾に通わせることが出来ない家庭の子供も）放課後に勉強を教えてくれる先生や場所（公民館など）があると子供たちの学力の差を埋められると思います（退職されたベテラン先生など）。
- ・通学路がとても危険。スクールゾーンをもっと広げてほしい。雨が降ると、水たまりが道のはじに大

きくでき、子供が道路の真ん中を歩かないとならない。崩れそうな家がある。人が死んでからしか何も出来ないのか。

- ・気軽に意見交換等交流できる場所、機会など。
- ・SNSを使ったサービス等。
- ・登下校時、夕暮れ時などの見守りといったようなもの、通学路や危険な場所へのパトロールなどがあつたら心強いです。
- ・近所の子育ての経験者で子どもが好きな人々とのつながりが持てる場所があると良い。

問43 最後に、すべての子どもに良質な成育環境を保障し、子育て支援を総合的に進めていくために、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

1. 放課後児童クラブ（学童保育）、子ども会、サポートについて

- ・夏休みの長期休みの時、学童開始時間を早くしてもらいたいです。仕事の時間は、わからないので、休み期間中ずっと遅刻しているということになります。
- ・小学生になると、自分の足での登下校になります。見守り隊の方には、本当にありがたいなと感謝しています。その反面、学童に高学年は、いられないという現状もあり、安全面で心配があります。親が帰宅するまで、子ども一人が留守番をするというのは働く親としてはとても心配です。学童について検討していただけたとありがたいです。
- ・現状、核家族の増加している中で安心して子育てができる環境や、情報を分かるようにしてほしいです（新聞を取っていないので、学校などを通して保護者に伝えてほしいです）。
- ・学童保育希望者全員が入所出来るようにして欲しい。
- ・単発的に利用できる学童があるとありがたい。卒園した幼稚園で利用はできているが、園の夏休みや行事などで、利用をあきらめていることが多い。他の市でやっているファミリーサポートがあればいいなと思うこともあります。
- ・旭市は放課後等デイサービスが少なく、特に自分が住む干潟小学区には1つもないと思う。もっと近くにあれば自力で学校から向かえるだろうに・・・と思う。
- ・出産や幼児に関しては支援が充実していると思いますが、ある程度、大きくなつてからの経済的不安が大きいです。小学生でどのくらいか、中学生ではどうか、先が見えないので心配です。
- ・児童クラブの定員がオーバーしており、小3以上の子は自分の机が無く生活しているようです。落ち着いて学習をしたり、読書をするためにも、希望者の数に合ったスペース、机、イスの確保をお願いできればと思います。
- ・夕方～夜間帯みてくれるサービスがあればいい。下と上の年の差があるので、みてくれるサービスも歳玲の幅があるといい。

2. 学校教育について

- ・経済的事情に関係なく、教育を受ける機会が与えられるよう、施設や補助の充実を望みます。
- ・先生方からも、保護者へ少し違和感を感じたり、気に掛かる事があれば、声掛けをマメにして頂けると助かります。日頃から連携がとれていれば、保護者からも、言いやすかったりするからです。
- ・都会では、私立中学等の教育の選択がありますが、旭では難しいため、学力レベルが上がるよう取り組みを強化していただきたいと思います。

- ・市内の中学校の学区の見直しや、規模の適正化を検討していただきたいと思います。現在旭二中は大規模校ですが、旭一中や飯岡中などは、どんどん人数が減っていて、部活動を維持していくことも大変な状況になってきています。居住地校に入りたい部活動がない子は学区をこえて旭二中へ入るというケースがあり、ますます少ない学校はより生徒数が減ってしまう傾向にあると思います。旭二中だけが巨大化していくことは、旭全体の教育環境を考えいく上でマイナスなのではないでしょうか。自分の地元の中学校にどの子供も喜んで入学したいと思えるよう、バランス良く学区を配分していただきたいと思います。または学区外入学は許可しないなど、何らかの手立てが必要かと思います。
- ・家の子は発達障害があるが、偏見や差別をうまない世の中にするには、幼少期の頃から「みんな違って、みんな良いんだよ」という事を植え付けなくてはいけない。その為には、幼稚園や保育所、小学校の先生方などにそういう教育を協力してもらいたい。また、いじめや虐待に関して言えば、この問題は本当に根が深く難しい問題で、地球上から根絶させることは、私は不可能だと思うが、いじめや虐待に苦しんでいる子を早期発見して助けられれば、死亡する子を1人でも減らせる。その為には、今の5倍位チェックの目を増やすなどすれば良いのではないかと思う。
- ・ADHDの子供が学校に普通にいる。ボーダーの子も多くいる。しかし、周りには周知はされていなく、説明などもない。ADHDの子供には対応も難しい事も多くあると思うが、親世代は詳しく知つてはいなのではないか？先生方の対応も適切なのか？無知が不安を大きくし、理解もされにくくなり、親・子が孤独となるのではないか？知つてもらう努力をもっとするべきではないか、勉強会等が少なすぎる。同じ所にいるのであれば、子供達にもしっかり伝えるべき事はしっかりやるべきではないでしょうか。受け入れるのであれば、準備は必要ではないのか？と思う。個性を殺すか生かすかは環境と周りの理解ではないでしょうか。市だから出来る事があるのではないか？
- ・以前子どもが学校内にてイジメと取れる被害にあっていました。その後の改善策として学校はすぐに動いてはくれたが、対応については100%の納得はできなかった。例えば状況が全て明らかになっていない前に加害児童の保護者へ伝えた事など。イジメの解決は非常にデリケートであると思う。今後の被・加害者同士の児童・親の関係を良好にする為にも、イジメのプロの第3者スタッフが介入して欲しいと感じた。その方が加害者の親としても重大なことであるとより認識してもらえるのではないかと思う。
- ・いろいろな制度が頻繁に変わり不安になることがあります。子供に対する支援は、みんなが同じに受けられるようにしてほしい（税金が高くなてもいいので）。仕事をしていることで子供と一緒にいられる時間も減るが、子供のためという思いもあって、頑張っているのに収入があることで受けられない支援があると、働く方がよいのかと思うことがしばしばある。市内にある児童養護施設の子たちは、中学生くらいまでしか、そこで生活できないと聞くが、高校卒業して社会に出て、生活が安定するまでサポートしてあげられるようになることを望みます。小・中学校は市で環境整備を迅速に進めてくれていて、とてもありがたいと感じます。それにひきかえ県では、高校生に対し私立まで学費の補助をしているのに、県立高校の整備には、まったく取り組んでおらず、ひどい環境だと聞きます。県や国の制度だと思うのですが、私立・公立の環境の差が大きいのにみんなが補助を受けられない状況は改善してほしいです。もしくは、私立に補助できる余裕があるのならば公立高校の環境も整えてほしい。公立高校に進学する子の方が圧倒的に多いのだから。よろしくお願ひします。

- ・医療費の助成はとても助かるが、匝瑳市のように自己負担0円という自治体も近隣にあるので、旭市はまだ水準が低いと思います。子育てにはお金がかかるので、医療費の助成、子ども手当等経済的な支援をもっと充実させてほしいです。中学の授業だけで学力を上げることは難しく、多くの子供が塾に通っているが、塾の費用は負担が大きいので、学校の指導をもっと充実させてほしい。学校と保護者との関わりについて、PTAや家庭教育学級等の役員の負担が大きい。誰もやりたがらないので、役員を決めるのに毎回時間がかかる。小中1年生の家庭教育学級も有効性を感じず負担の方が大きいので必要ないと思う。

3. 保健、医療について

- ・医療費がかかるので病院にからず様子をみてしまうことがある。
- ・産科が旭市内に中央病院だけでなく個人の産院を作りたい（大きな病院は待ち時間やアットホームな感じが感じられない）。予防接種の予約もとりにくい。中央病院＝大きな病院にかかるほどではないと思っても、夜間・休日で診療しているところが限られているので受診させるだけで子も親も疲れる。
- ・子供が持つ病があるため、医療費助成受給券に助けられています。ありがとうございます。しかし、旭市の子供の人口に対して小児科が少ないと感じます。小児科を増やすことはすぐにできる事ではないので、予約等がホームページ等で一括して解り、予約等ができるシステムなどがあると助かります。例えば、旭市にある小児科すべての空き時間の把握、事前予約、予防接種の日程等です。特に冬は待合の場所が病児と親であふれかえっています。今の予約の仕方は早い順番が主流です。（病院に直接行って順番を取る。）待合の混雑が少しでも減ると、うちの様な持病で通院している子供がいる場合助かります。検討の方お願い致します。
- ・市内に個人の耳鼻科が無い。皮膚科もあるが、毎日やっていない。気軽に行ける個人の耳鼻科・皮膚科があると良い。この間は、銚子の耳鼻科まで子供を連れて行った。平日は仕事をしているので行くのが難しく、土曜日に行ったけど、もっと近くにあったら時間をかけずに済む。

4. 公園、遊び場、イベントについて

- ・大きな公園に行かないと、ボール遊びや自転車に乗れる場所がない。
- ・飯岡保健センターでいつもお世話になっています。子育てにも色々なケースがあると思います。障害児の日常の生活についても様々な方に知ってもらいたいと思います。イベントに参加するには配慮が必要となるため気軽にとは行けません。病院以外で重度の子どもを連れて外出されている方が少ないと 思いませんか？同じ市内に住んでいるのに、と思うことは多くあります。今後の変化を期待しています。
- ・放課後、子供が友達と遊べるように校庭を開放してほしい。学校が終わってから移動なく遊べる。時間などルールを作って。三川、飯岡の地区にも遊具の充実した公園が欲しい。
- ・子どもの行事等に親が気軽に参加できる社会づくりを進めてほしい。
- ・同じ世代の子供を持つ親同士が集れるサークルのようなものがあるといい。子供が小学校低学年以降、段々と年が離れていくと同時に、目が離せなくなるが自立の為にも、お互いに気持ちを話せる機会があれば良いと思います。

- ・文化の杜公園に時計があるといいです。
- ・室内の遊び場があると良い。雨の日でも土日祝日でも利用できるような遊び場の施設。未就学児、就学児共に一緒に利用できる施設。子供が体験できるイベントが沢山あると良い。手作り工作やお菓子作り、ダンスや茶道など子供の将来に繋がるような体験イベントを低料金で参加できるようなもの。公共の公園の整備、トイレや雑草、壊れた遊具の早期対処、修理を行ってほしい。
- ・イベントや教室があっても、交通の面や人数の制限で参加しにくい（できない）。（人口に見合った）があったらとても良いと思う。

5. 市政について

- ・子供の医療費の助成が高校まで拡大したのは、ありがたいが、手続きが面倒なので、小中学生と同じように受給券にしてほしいと思います。できれば小～高校生まで医療を無料にしていただければ、もっと助かります。
- ・子供が4人いるので、1人が病気になれば、他の子もだいたい一つるので、医者での出費がかかる。オムツ2年より医療費無料の方が助かる。保育園での細々な出費がかかる。
- ・近年少子化となっており、小学校の児童数が減っていると思われます。近隣地域では小学校の統合が進められており、本市も対象である地域もあるのではと思います。統合により登下校の安全確保、運動会や音楽会の運営の盛り上がり、教育環境の充実、良質な成育環境につながると思います。児童数が多ければ、沢山の価値観、個性に触れ学びも見解も広がると思われます。災害から身を守れるより安全な小学校への統合を望みます。
- ・母子家庭への住居手当て等、住居の施設や、借賃住宅の補助や、子供の人数に応じて補助の全額の検討をして欲しいです。医療費も高校生も考えて欲しいです。給食費の3人目割引は、年齢が重ならないと受けられないのが年の離れた子供のいる家庭にも厳しいと思います。
- ・市役所を建設しようとしている公園は、そのまま残すべき。市役所は旧海上・飯岡・干潟と3ヶ所はきれいなのに、それを使用すればいいのでは？そのお金、もったいないです。医療費の無償化（高校卒業まで）の方が、保育料より優先すべき。世帯によって夫婦の収入は大きな差があります。保育料は収入によって支払ってもいいと思います。小学校の遠足も市バスが使用できるよう、社会化見学みたいな感じしか行けなく、ディズニーなど行けなくなりましたよね？遠足の時くらい、理由問わず市バスを使用できたらいいです。野球チームでも県大会しか使用できず、困っています。もう少し規定がゆるくなてもいいかな？と思います。
- ・子供の医療、教育、生活に関する費用の軽減を図っていただくことで保護者に余裕が生まれ、虐待の撲滅につながると思います。何から何まで行政に頼るつもりはありませんが有効な策を講じていただきたいです。
- ・両親共働きで核家族の子育てはとても大変です。その該当者への支援は探してもみあたりません。経済的な支援だけでなく地域での医療、病児支援や職場への改善の働きかけなど、市としての取り組みに期待します。
- ・離婚した世帯と死別した世帯を一緒にしてほしくない。離婚した世帯が市のお世話をしてもらえる事を当然のようにしているのが死別した人に対して私たちは仕方ないという感じに言われるのが不快。死別した方はしたくてなったわけではないのに・・・もう少し同じ一人親でも分類して支援してほしい。

- ・子育て支援とは、子供と関わる者（両親等）も支援をしていくことである。子どもをみている者が疲れてしまったら望ましい子育ては不可能になり、最悪虐待などの不幸を招いてしまう。うちは、障害児がいますが、母が難病であるが障害者福祉サービスが利用できず、日常生活に支障をきたしています。子育ての面からみて、子どもをみている者が望ましい子育てを出来ないと子供が不幸になってしまうことを、子育て支援課から社会福祉課へ伝えていって連携をとっていただきたい。
- ・少子化対策の充実をもっと計ってほしい。経済的な援助（給食費の減免の拡充・多子世帯への助成）をもっと推進してほしい。大学進学に向けて給付型の奨学会制度の拡充・拡大をぜひとも旭市としても推進してほしい。教育を受けさせたくても経済的に断念させてしまうことは本当に残念でならないし、子供に申し訳ない。平等に教育を受ける権利を与えてほしい。

6. 相談、預かり施設・窓口について

- ・経済的な支援（必要な家庭への）そのために気軽に相談できる体制構築。市役所、児相、警察、学校等の連携。困ったときに、どこに相談したらよいか明確にすることが大切だと思います。また、その相談に対して丁寧な対応をしていただけすると安心感が湧きます。
- ・親子で気軽に相談できる所がほしいです。
- ・相談しても的確な助言を得られる場所がない。個人情報ばかり聴取するが、知り得た情報を有効に活用していない。“しばらく様子をみましょう”とよく言いますが、相談している方は様子を見てきて困って相談しています。相手の立場になり、その場で出せなかった事は必ず後日、回答するように学んでほしいです。対応が後手後手になってしまっている様に感じます。相談したら、安心して帰れる支援をしてほしいと思います。
- ・仕事が休みづらい。学童の申し込みが面倒。1時間位無料で子供達がいられる場所が近くにあると助かる。
- ・子供は障害があるため特別支援校に通っている。学童がない為、放課後デイサービスを利用しているが、休日や長期休日は受け入れ時間が遅く、帰りの時間も早いため、なかなか仕事ができない。8時半～17時くらいまでみて頂ける事業所がほしい。また、質のよい事業所が旭市になく、みな匝瑳市を利用して、そちらはパンク状態である為、預けるのが難しい。
- ・同居の方が多く、見てもらっている家庭が多いので、核家族の頼る先の調べ方すら分からない。安心できるシッターなどいればありがたい。

7. その他（新しい施設、施設の充実、安全環境整備、学習サポート、交通機関の充実、職場の理解・労働環境、衛生管理、アンケートについて等）

- ・小学校が不衛生と感じるので改善してほしい。（トイレが臭い、トイレが外にある、ハエが多いなど。）通う学校は選べないので、あまりに古い学校だと不公平を感じてしまう。通学路に歩道、信号機がなく、夏場は草が生い茂っている。役所に連絡すれば草刈してくれるが、学校付近は、連絡しなくとも細目に草刈りをする等の子供の安全に配慮して頂きたいと思います。宜しくお願ひ致します。
- ・農業用水路（西足洗）に、フェンスを作って下さい。誰が見ても危険です。街灯もありません。夜道が暗くて危ないです。

- ・この夏は、とても暑く、小学校の教室にクーラーがないと知りびっくりしました（中央小）。他の小学校は分かりませんが、全学校に夏はクーラー、冬は暖房をつけていただきたいです。
- ・小学校の通学路が、とても狭く、朝その狭い道をかなりのスピードで、走り抜ける車がいます。中学校も、田んぼの近くや、川の近くに中央線がなく、その道を、やはり、猛スピードで走って行く車がいます。とても安心して歩かせたり、自転車で行かせることができません。道を通学路の所だけ色分けしているところがありました。もっと広げてほしいです。色分けするだけでも、車から見るととても目立つので、旭市内と見づらい田んぼや川の近くに色をつけて下さい。本当は、もっと広いほうが安心です（通学路が）。
- ・土曜日や長期休業時、宿題や分からぬ勉強を教えてくれるボランティア学習塾を各学校などで行って欲しい。
- ・本を借りに旭公民館へ行くのですが、立地はとても良いのですが、駐車場も限りがあり、土・日はなかなか車が停められません。又、建物も古く子供がトイレを使用するとなると和式の場合もあり、使用を拒みます。又、図書スペースも子供達がもう少し本を読んだりするスペースがあっても良いのではと思ってしまいます。せっかくの子供達が集う場なので、建て替えを検討しても良いのでは。
- ・将来の地域の宝である子供達へ良質な教育（レベルに合った）の場を提供して頂きたい。普通科以上の高校の設置なども検討していく必要があると考えます。加えて、美術館・博物館等の文化施設の充実も希望致します。
- ・放課後1時間～1時間半くらいの時間、学校などで勉強をみてもらえるとうれしいです。図書室を利用したり子供達が自由に勉強したり、授業でよく分からなかった事など聞いたりできる場所がほしいです。習い事に行ける子供ばかりではないので。
- ・公立保育所在り方検討委員会の報告書（H29.8.9）に記載されている内容を見る限り、今後の旭市の公立保育所についてよく話し合われた内容が書かれているのに、なぜ統廃合を進め、より良い保育所にしようとするのか？児童館が必要だとたくさんの声があるのになぜ取り組まないのか？海上保育所に関しては安全が確保できない。水害による危険性もあると、しっかりと記載されているのになぜ園舎のすぐわきに建設するのか？大型重機の出入りで園舎の倒壊は、可能性がゼロではないのでは？その中で生活する子ども達の安全は確保されないと私は思います。工事現場がすぐ隣であれば、子ども達に悪影響の様々な物質の紛糾も舞うのではないか？それによってアレルギーや喘息などの悪化も非常に心配です。地元の人間としては、自然災害を受けない場所での建設であれば（土砂災害など）身边に新しい公立保育所が出来ることは嬉しい事ですが、大事な我が子が劣悪な環境で何ヶ月も過ごさなくてはいけないのでは？という不安が大きいのですが、その点は大丈夫、今までと変わらない生活が出来ると保障いただきたい。上記に「すべての子どもに良質な成育環境を保障」と書いてあるのですから、市民ファーストで、十分検討し大きな事業に取り組んで下さい。心からよろしくお願い致します。一個人の意見ではなく大勢の保護者の声として、よろしくお願いします。「騒音や雑音は大人より幼児に深刻な影響を与え、言語学習の妨げになる」というのは、調べてみると、すぐにヒットすると思います。

- ・7歳の息子に聞いてみました。「地域の人達と子供がボランティアをしたらしい」との事でした。知り合いになれるし、お弁当などが出れば、共働きやネグレクトや小さい子がいる家庭で、手が回らない子も参加しやすいのでは?口を出すのではなく、手をさしのべられる旭市になったらしいと思います。SOSをどう出したらしいのか?学校で子供達に教えてあげてほしいです。地域の人達が、子供のSOSをどう判断し、接するべきかの勉強があると助かります。
- ・我が家のは、重度の発達障害(知的)ですが、そう言った子供達が遊べる環境、場所、支援等を希望します。現在、小学校1年生で、特別支援学校へ通っていますが以前は、銚子のわかば学園へ“毎日”通っていました。海上発達センターも親子で通っていましたが、そういった療育の場が増えて頂くとありがたいです。(実際、2年わかばに通いましたが、成長が目に見えて感謝しかないです。)又、おむつも取れていない状態で、体格が良い子なので、14枚入りの約1500円のおむつを利用ですが、家、学校、放課後デイサービスを持って行くと、金銭面にも負担が大きいです。9ヶ月の乳児も育児していますが、おむつ券はとてもありがたいです。発達に障害のある子供達への支援、又、保護者のアンケートなど、取って頂きたいです。(書ききれないで。)
- ・もともと住んでいた方や地元の方以外で、他県から引っ越してきた人にとって、あまりにも「仕事」が少ない。ましてや、パート・アルバイトで子供がいて、条件などがあると働く場所はあるのか?と思う。昼間、家から出て自分で働く事も心に余裕を持つ事につながると思う。働けなくて悩んでいる人もいっぱいいます。子育てには、お金がいります。そちらの方も宜しくお願ひします。